



日章学園九州国際高等学校校長便り 師走

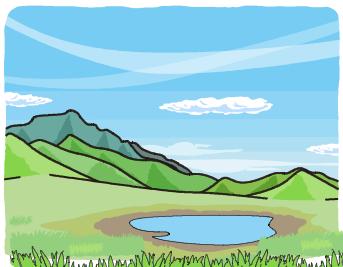
建学の精神：道義に徹し、実利を図り、勤労を愛す

学園スローガン：やり抜く力

学校教育目標：国際的視野と人間性豊かな心を持ち、

自ら学び考え、自己の課題を解決できる生徒を育成する。

令和3年(2021年)12月1日(水)校長 屋田伸仁



故不登高山 不知天之高也



11月に入り、全国のコロナ感染者も少なくなり、生徒達も日ごろの閉塞感から開放されたい気持ちも高まっていました。また、後期に新入生も3名入学してきたので、新入生歓迎も兼ねて、秋の一日遠足を計画しました。えびの市の自然に親しもうと11月4日に登山を計画しました。今回は、生徒1人ひとりの体力に合わせて韓国岳登山と六觀音御池巡りの紅葉散策コースの2つに分けました。私は韓国岳に挑戦することにしました。

当日は快晴の登山日和でした。元気旺盛な男子生徒の後を追いながら、険しい山を登りました。山頂は絶景でした。中国の荀子の言葉に

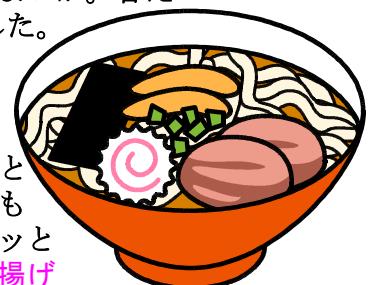
「故不登高山 不知天之高也」(高山に登らなければ、天の高さを知らず)ということがあります。高い山に登らなければ、天の高さはわからないままだ。昔の人の教えも、学んではじめてその偉大さがわかり、その教えの上に立つと、物事がもっとよくわかるようになるという教えです。韓国岳の山頂に立つと、昔の人々が抱いた天孫降臨の神話の世界に思いが巡り、大自然の偉大さに畏敬の念が高まるのを覚えます。荀子が言ったことが実感できました。えびの市は、すばらしい自然に恵まれたところです。県外から来た生徒達も、えびのをますます好きになったのではないかと思います。えびの高原の終着点に到着した生徒達は、達成感と満足感で目も輝いていました。

天ぷら学習法 vs さつま揚げ学習法

本校の特色ある教育活動の一つに資格検定の取得があります。国際高校なので、特に英語検定には力を入れています。ほとんどの生徒が受検します。毎週1時間の資格検定に取り組む時間を活用したり、寮の夜間学習で自主的に取り組む生徒もいます。今回の10月の検定試験でも、生徒達はそれぞれの能力に応じて、5級から準1級まで受検しました。結果は合格者が多数出ましたが、不合格者もいました。

さて、どんな勉強にも根気が要りますが、更に効率よく勉強できる方法や工夫を考えてみましょう。脳科学のおかげで、どんな勉強をすれば脳が活性化するのか分かるようになりました。テレビゲームをしているときの脳と足し算、引き算等の単純計算をしているときの脳では、どちらの脳が活性化しているか？答えは単純計算です。テレビゲームをしているときは、脳がリラックスして、前頭前野はあまり働くかないそうです。次は覚え方です。目で覚えるのと、書いて覚えるのでは、どちらがよく脳が働いているか？答えは書いて覚えるです。では勉強の仕方では音読と黙読、どちらがよいか。答えは音読です。勉強は五感をフル活用した方が効果が上がることが実証されました。

ところで、私はうどんが大好きで、天ぷらやさつま揚げをトッピングしたりします。どちらもおいしいです。天ぷらはカリカリと食感がいい。しかし、パラパラと衣が落ちたりします。さつま揚げは何度も魚のすり身をこね上げたもので歯ごたえがいい。では勉強法にたとえて考えてみましょう。天ぷら学習法とさつま揚げ学習法はどちらが学力が上がるか？答えはさつま揚げ学習法。何度も何度も繰り返して、ねばりをつける。記憶が確かになります。一回だけ、カラッと油に上げた天ぷら学習法ではパラパラと記憶も落ちたりします。ぜひ、さつま揚げ学習でがんばりましょう。1回の復習で終わるのでなく、2回も3回も繰り返す努力を重ねたい。



努力の丘に成功の花が咲く。

学びの秋です。英検だけでなく、他の勉学でも成功の花をたくさん咲かせましょう。

